

世界の果てに行ってきた

公開授業  
観光学部  
「異文化間理解」  
(担当:加藤)

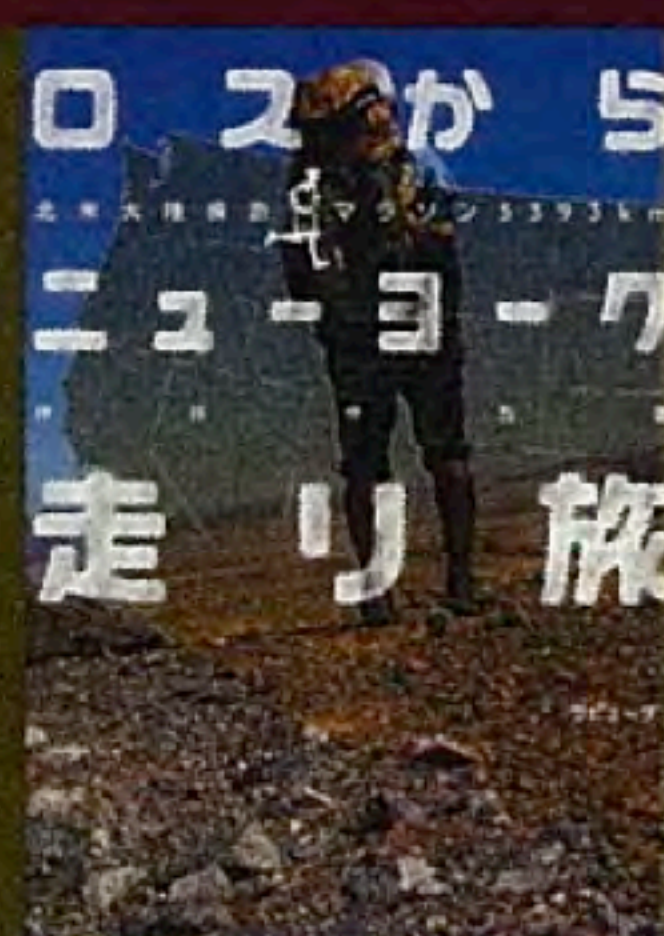
世界一周  
バイク旅



坪井さんによる講演  
10月10日(水)  
13:10-14:40 (G102)  
どなたでも参加でき  
ます!

展示は小  
野町αで  
5-9日

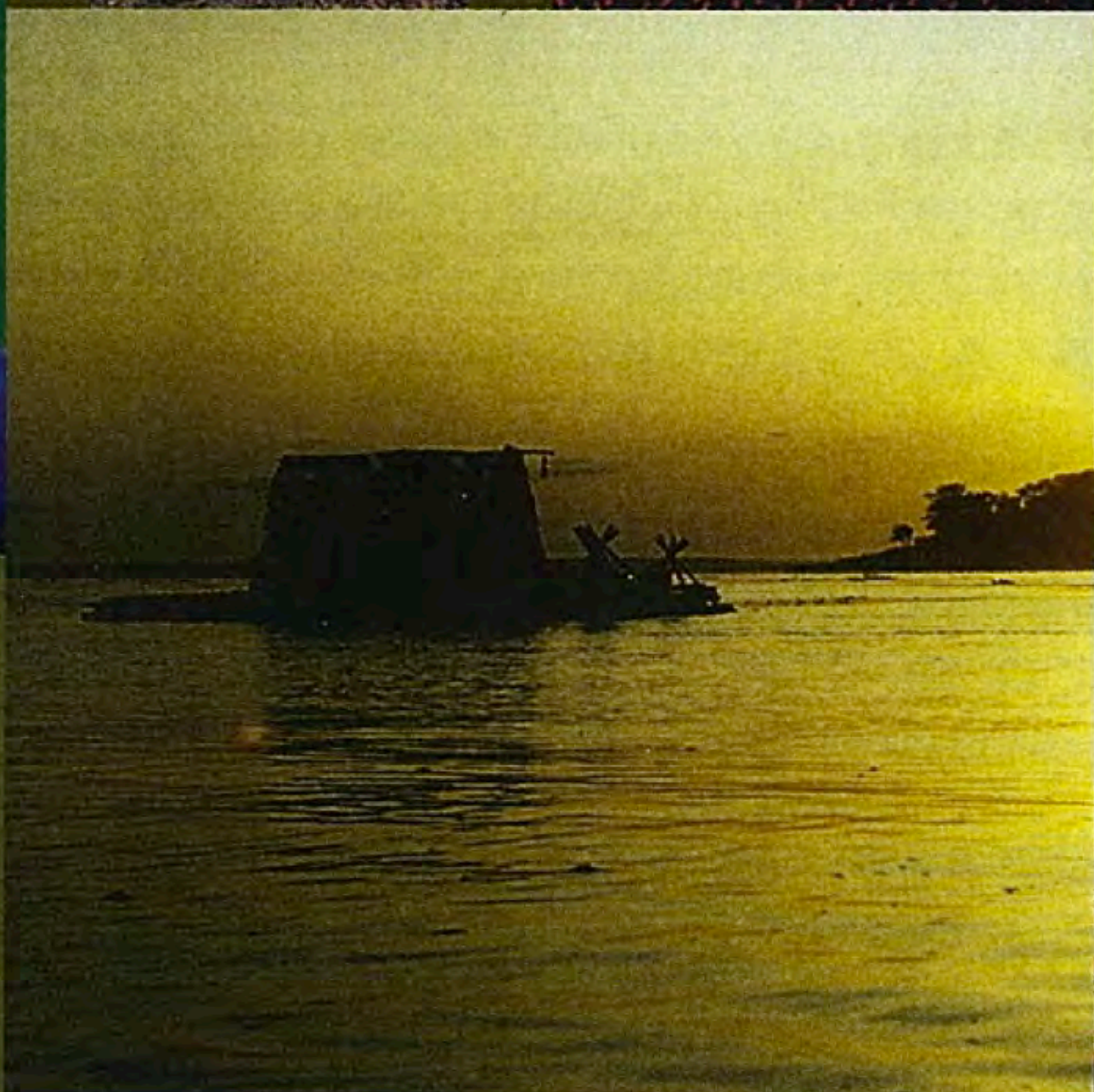
北米横断  
マラソン



入場無料

坪井伸吾展

アマゾン川  
いかだ下り



釣り



旅



2012年10月5日(金)~9日(火)  
11:00~18:00 (最終日17:00)

ギャラリー&カフェ 和歌山市小野町3-43 西本ビル

Onomachi<sup>α</sup> おのまちあるふあ 3F

# 世界の果てに行ってきました

私の体験はひと言でいうと「道楽」ですね。冒険と言ってくれる人もいますが、自分としては道楽しか思えない。でも人前で話すうちにいろんな人に楽しんでもらえることには気づきました。私は釣りが好きで、バイクが好きで、旅が好きです。私が好きなことを全力で伝えたい。少しでも共感していただけたらうれしいです。

北米大陸横断マラソンで使用してすり減ったシューズ。ハリバット釣りに使用する特大釣針。パプアニューギニアのお面。世界一周ツーリング中に撮った写真や世界の魚の写真など珍しく、面白いものも展示します。何でもお尋ねください。

## 坪井伸吾展



### 坪井伸吾(つばいしんご)

和歌山県和歌山市出身。1963年生まれ。伏虎中学、星林高校、同志社大学卒。高校時代はヨット部に所属。

84年、バイクで日本一周。85年、北米横断。87年、オーストラリア、ヨーロッパ。89~93年、北中南米縦断。95、96年、アフリカ、中東。04年、ニュージーランド。計6年、15万キロを走破。並行して、86年に人力車を引いて東海道53次550キロを走破。92年にアマゾン川5000キロをイカダ下り。95年、アフリカ最高峰キリマンジャロ登山。2005年、北米大陸5400キロを単独マラソン横断。趣味は釣り、世界の釣りは週刊「釣りニュース」に連載。

著書「アマゾン漂流日記」「僕流その日暮らし」「子どもたちよ冒険しよう」「世界一周バイクの旅15万キロ」「ロスからニューヨーク走り旅」。「僕流」と「子どもたち」には和歌山市でのエピソードも満載。「バイクの旅」のイラストは宇宙戦艦ヤマトのメカデザイン、SFイラスト界の巨匠、加藤直之さんの作品です。

## 日替わりトークテーマ

10月5日(金)~9日(火) 15:00~16:30

10月5日(金)  
魚と釣り

紀ノ川でハゼを釣り、用水路でバラタナゴの群れを観察した小学生のころ。魚たちは何を食べ、どんな環境が好きで、どうすれば釣れるのかを毎日考えていました。歳を重ねた今も魚への興味は薄れません。アラスカの世界最大のカレイ、ハリバット。アフリカをバイクで旅しつつ探し続けた巨大魚ナイルパーチ、アマゾン川をイカダで下りながら食糧として釣っていたナマズ。釣りと魚を通して、生き物や自然の話します。

10月6日(土)  
アマゾン

南米ペルーのプカルパから河口に近いブラジルのグルパまで、アマゾン川を5000キロ手作りイカダでくぐったことがあります。メンバーはブラジルで知り合った旅行者2人。ただただ4か月間、川を流されていったので、毎朝目覚めると自分がどこにいるのかすら分からない。マニュアルの通用しない生活では、その場その場で問題を解決するしかなく楽しくも恐ろしい想定外の連続です。

10月7日(日)  
北米横断  
単独マラソン

部屋にこもって原稿を書いていた40歳が、階段の上り下りで膝が痛くなり、そんなバカなとシューズを購入。翌年勢いで100キロマラソンに挑戦。その翌年、ロサンゼルスからニューヨークまで5400キロをザックを背負い一人走る。毎日50キロ走り続け、町にたどり着けない日は野宿。ヒトの可能性はどこまであるのだろう。知りたいとは思いませんか。

10月8日(月)  
世界一周  
バイクの旅

1983年、和歌山市駅の近くのバイク屋さんで50ccのスクーター、ホンダタクトを買った。その瞬間、地図上の存在でしかなかった町が自分の行動範囲に入ってきました。こんなことができるのか、という驚きと、もっと見たい、知りたい。という思いがツーリングの原点です。それから13年、世界の6つの大陸をバイクで走りました。自身の15万キロの旅と時代によってうつり変わる海外ツーリングの歴史について話します。

10月9日(火)  
旅人として

お隣の国から秘境まで、60か国ぐらいを旅しました。一人のときもあれば、複数のときもあり、バイクのときもあればイカダやマラソンのときもある。スタイルはあまり重要じゃなく、そのときの自分の気持ちに正直であればそれでいいというのが本音です。世の中には不思議がいっぱいあり、不思議を味わうのはとっても楽しいとおもっています。

2012年 10月5日(金)~9日(火)  
11:00~18:00 (最終日17:00)

入場無料

ギャラリー&カフェ

Onomachi<sup>α</sup>

おのまちあるふぁ 3F

〒640-8224 和歌山市小野町3-43 西本ビル ☎073-425-1087 <http://www.onomachi.jp/>



南海電鉄和歌山市駅より徒歩約6分